

概要版

桑名市新水道ビジョン

—信頼を未来にわたす 桑名の水—

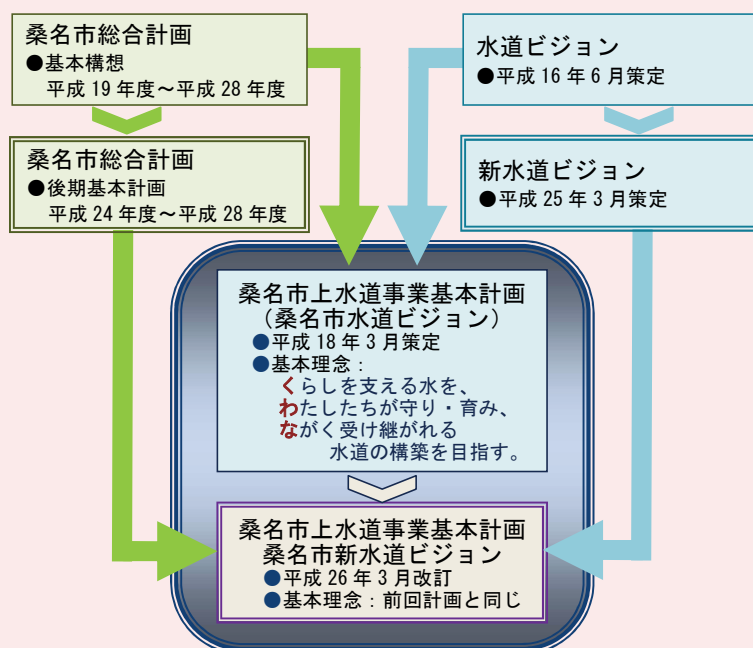


2014 ～ 2024 年度
桑名市上下水道部

『新水道ビジョン』とは？

●新水道ビジョンの策定趣旨

平成 16 年 12 月に旧桑名市、旧多度町、旧長島町が合併し、現在の桑名市となりました。その後、平成 18 年 3 月に基本計画（桑名市水道ビジョン）を策定いたしました。そして現在東日本大震災の発生等の社会情勢の変化を受け厚生労働省より「新水道ビジョン」が公表され、本市でも将来目標の設定と達成するための具体的施策を示すため、「桑名市新水道ビジョン」を策定することとなりました。



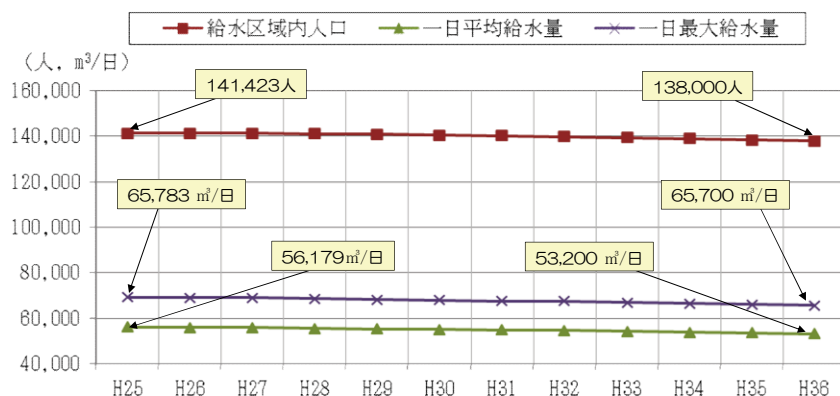
●上水道事業の沿革

本市の上水道事業は、明治 37 年創設の私設諸戸水道を引き継ぎ、地域の発展とともに拡張整備されてまいりました。なお、平成 26 年は桑名市水道創設 110 周年を迎えます。

明治 37 年	○私設諸戸水道の創設 給水人口：約17,000人、一日最大給水量：890m ³ /日
昭和 2 年	○第1次拡張事業認可 目標年度：昭和4年度、給水人口：30,000人 一日最大給水量：4,200m ³ /日
平成 13 年	○第5次拡張事業認可 目標年度：平成25年度、給水人口：134,000人 一日最大給水量：81,000m ³ /日
平成 16 年	12月6日 桑名市、多度町、長島町の1市2町の合併に伴い事業を継承
平成 21 年	桑名市上水道事業変更届け出 平成21年3月30日に受理 目標年度：平成30年度、給水人口：143,256人 一日最大給水量：78,255m ³ /日（うち県水受水：25,400m ³ /日）

桑名市上水道の現状と課題

●水需要の予測

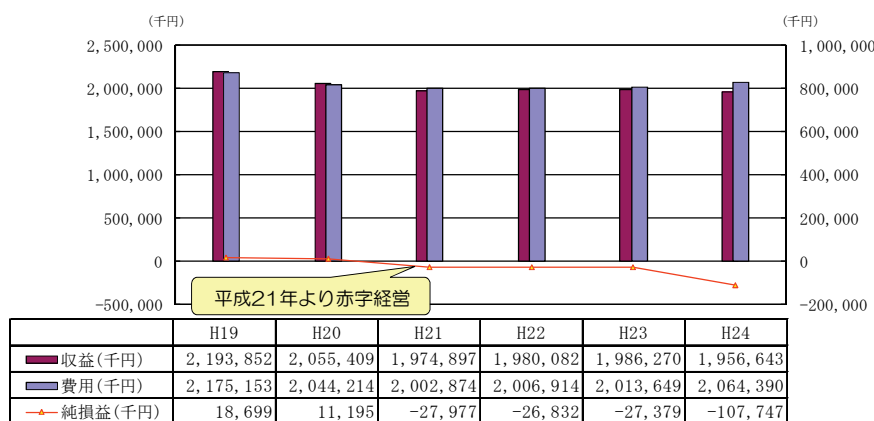


給水区域内人口は、平成 25 年から平成 36 年までに約 3,500 人減少し、一日平均及び一日最大給水量についても減少傾向と予測しております。

【課題】

少子高齢化による給水人口の減少

●事業経費



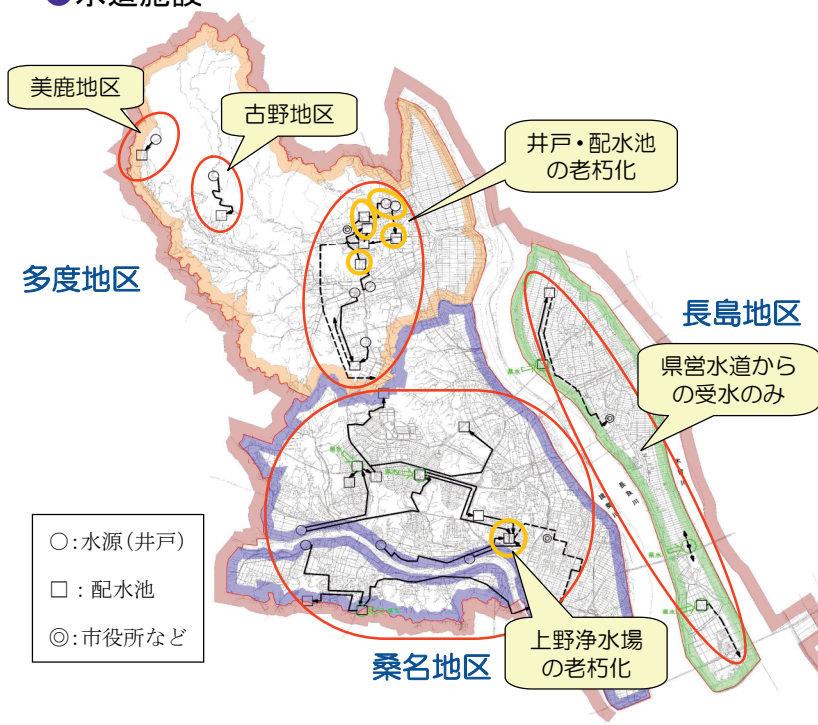
平成 16 年度の合併以来、黒字経営で推移してきましたが、平成 21 年度以降は赤字経営となっております。

これに対しては、利益積立金を切り崩すほか、職員数の削減維持管理費の節減等の対応をしてまいりました。

【課題】

平成 21 年度以降の赤字経営

●水道施設



現在、桑名地区、多度地区、長島地区と給水区域ごとに水道施設が分かれています。

【課題】

- ・各給水区域の統合及び一元化の見直し
- ・桑名地区：浄水場設備の老朽化
- ・多度地区：井戸・配水池の老朽化
古野・美鹿地区の独立
- ・長島地区：県営水道からの受水のみ
二系統以上の受水確保

●安全でおいしい水

旧厚生省おいしい水研究会発表による

ほぼ基準値以内

おいしい水の要件		判定値	桑名市水道水 (H22～H24平均)
1.蒸発残留物	主にミネラルのことです。多いと苦味が増し、適度に含まれるとまろやかな味になります。	30～200mg/L	91
2.硬度	ミネラルの内、カルシウム・マグネシウムの量です。少なればクセがなく、多いと人により好き嫌いが分かります。	10～100mg/L	52
3.遊離炭酸	溶け込んでいる炭酸ガスの量です。適度にあればさわやかな味ですが、多くなると強い刺激を感じます。	3～30mg/L	9
4.過マンガン酸 カリウム消費量	有機物量です。多量に含むと水に渋みがつきます。	3mg/L以下	1.3
5.臭気度	不快な臭いの感じを示します。3以下は異臭味を感じない範囲です。	3以下	1未満
6.残留塩素	カルキ臭を示します。0.4mg/L以上では水の味をおとします。	0.4mg/L以下	0.42
7.水温	冷たいと水はおいしく飲めます。目安は20℃以下。10～15℃の水がおいしいとされています。	20℃以下	18.5

『奥たど山麓水 多度のしずく』



自然の恵みを受けた奥多度の山麓水をペットボトルにしました。

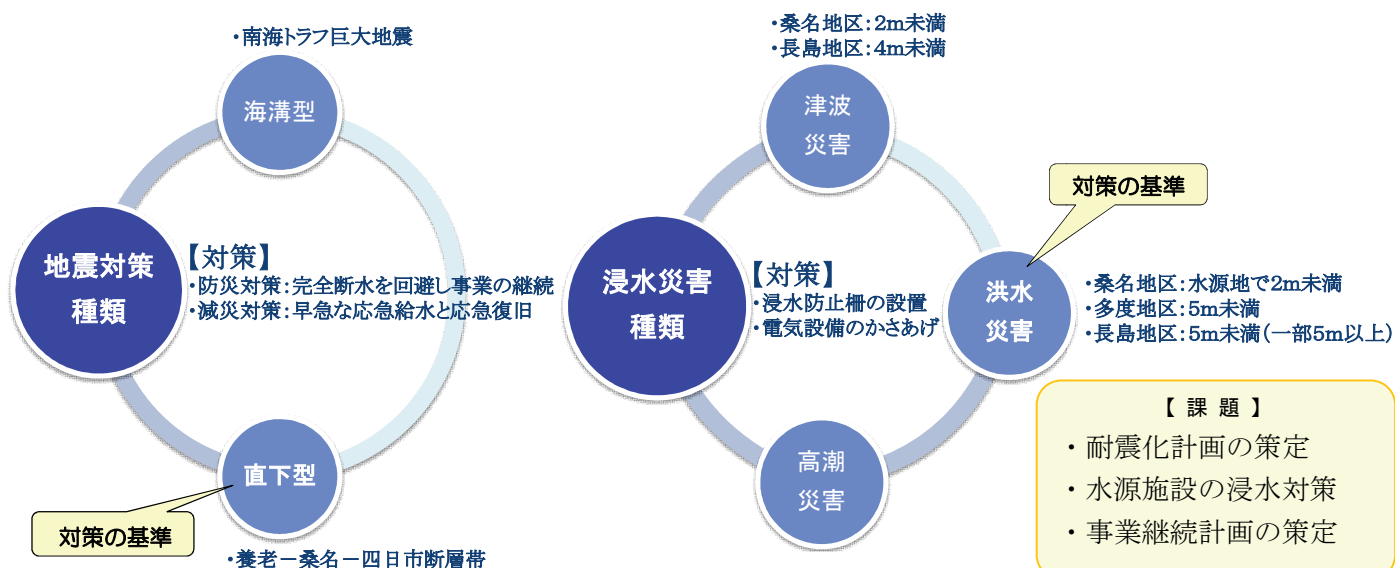
市の水道水は、旧厚生省おいしい水研究会発表の「おいしい水の要件」の基準にほぼ当てはまっており数値的にもおいしさが実証されております。

【課題】

桑名市全域でのさらにおいしい水の提供

●災害対策

上水道事業に被害をもたらす災害には、「巨大地震」、「津波」、「風水害」、「水質事故」、「事故停電」、「その他（テロ行為・渇水など）」が想定されます。より大きな災害に対応できるよう、地震対策については直下型地震、浸水対策については洪水災害を対策の基準としております。また、その他の災害については危機管理マニュアルで対応してまいります。

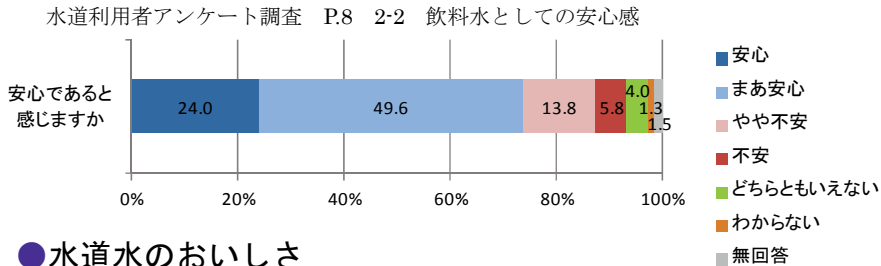


(出典：三重県地域防災計画 被災想定データブック)

市民アンケート結果

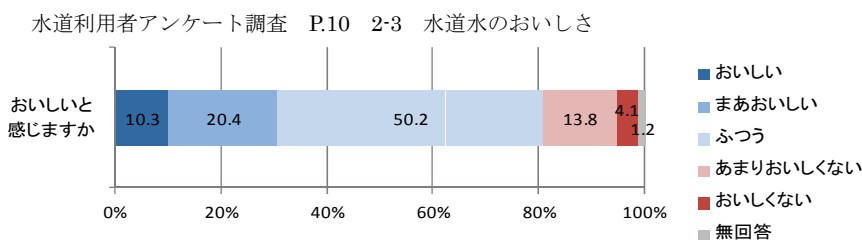
桑名市新水道ビジョンに市民の皆さまのご意見を反映し、地域の利用者との信頼を基礎に置いた対応を目指すため、本市上水道事業の現状と将来にわたる事業のあり方についてのアンケートを実施いたしました。以下に、その一部を掲載いたしました。

●飲料水としての安心感



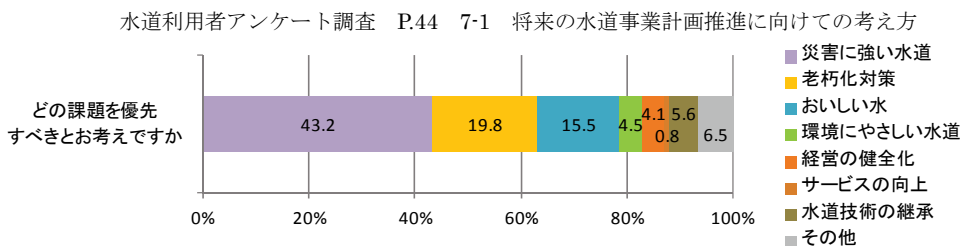
74%の方から『安心』との評価をいただきました。

●水道水のおいしさ



31%の方から『おいしい』
18%の方から『おいしくない』との意見をいただきました。

●将来の水道事業計画推進に向けての考え方

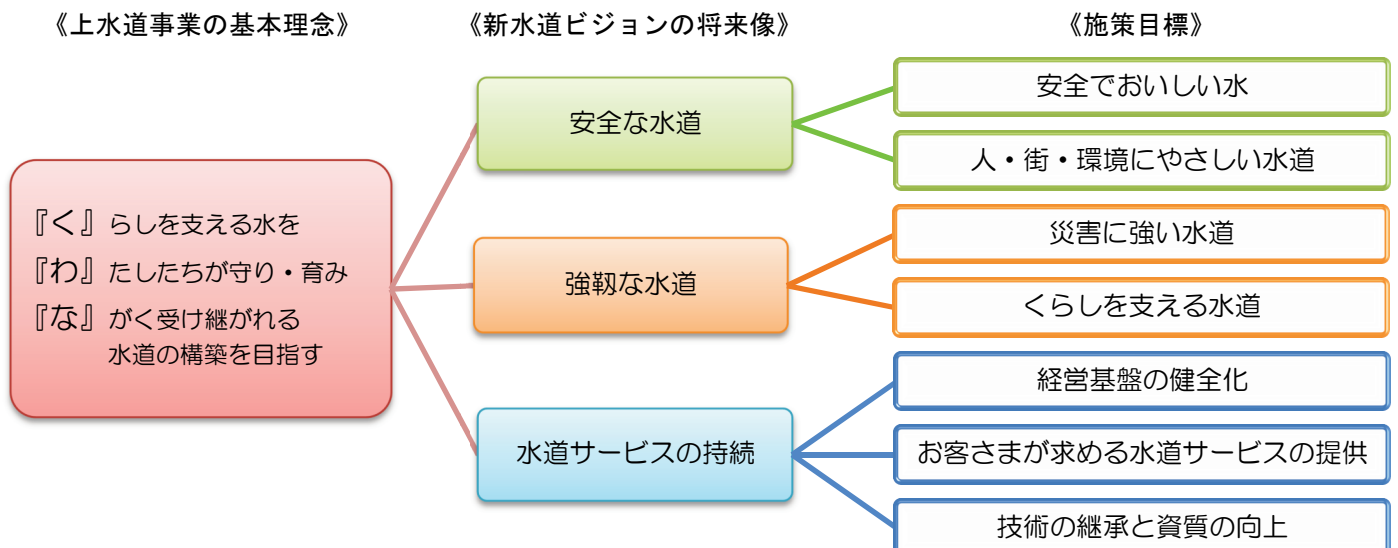


上位は『災害に強い水道』
『老朽化対策』、『おいしい水』
の順でこの3項目で79%を占めております。

※アンケートへのご協力ありがとうございました。このほかの質問、ご回答及び自由意見については桑名市ホームページにて平成25年9月1日より公表しております。

桑名市新水道ビジョンの基本理念と施策目標

桑名市新水道ビジョンで示す施策の体系は以下のとおりです。



基本理念と施策目標は、平成18年3月の基本計画（水道ビジョン）から継承

重点的な実現方策

水道の理想像を具現化するために、施策目標に従った重点的な実現方策を策定いたしました。

●安全な水道の構築

全ての市民が
いつでもどこでも
水をおいしく飲める水道



《施策目標》

- ・安全でおいしい水
- ・人・街・環境にやさしい水道

施策目標の達成へ向け、これらのことを実施してまいります。

- ・水道の一元化による安全、清浄な給水
- ・施設の再構築による安定供給
- ・一括集中監視による水質の監視強化
- ・直結給水区域の拡大
- ・次世代へつなぐ、水源環境保全の推進
- ・省エネルギーを目指す施設整備

●強靱な水道の構築

自然災害等による被災を最小限に
とどめ、被災した場合でも
迅速に復旧できるしなやかな水道



《施策目標》

- ・災害に強い水道
- ・くらしを支える水道

施策目標の達成へ向け、これらのことを実施してまいります。

- ・水道施設及び管路の耐震化、災害対策の推進
- ・水量、水圧、水質及び水道施設の健全性維持
- ・災害時の速やかな応急給水、応急復旧
- ・災害時へ備えた、連携意識の啓発

●水道サービスの持続

給水人口や給水量が減少した
状況においても、健全かつ
安定的な事業運営が可能な水道



《施策目標》

- ・経営基盤の健全化
- ・お客さまが求める水道サービスの提供
- ・技術の継承と資質の向上

施策目標の達成へ向け、これらのことを実施してまいります。

- ・経費等の削減と収入の確保
- ・業務の改善と効率化の推進による経営改善
- ・料金収納、窓口の充実によるサービス向上
- ・広報活動に努め、水道サービスの浸透
- ・熟練技術をシステム化し、次世代への技術継承
- ・水道関連団体等と連携し、技術・経営手法の向上

桑名市が目指す水道

これまでに掲げた、実現方策の実施と広域化も視野に入れ、信頼をみらいにわたす水道とするため新水道ビジョンの将来像、『安全』、『強靱』、『持続』に合わせ、本市は次の3項目を目指します。

『安全』：水質が良好で十分な水量を受けることができる水道

『強靱』：災害による被災を最小限にとどめ、速やかに復旧できる水道

『持続』：合理的な対価をもって持続的に受け取ることが可能な水道

フォローアップ

●事業の実施管理指標

「重点的な実現方策」で挙げた内容については、事業の達成度を評価する管理指標を設定し、今後はこの管理指標により数値で管理してまいります。

●継続的改善

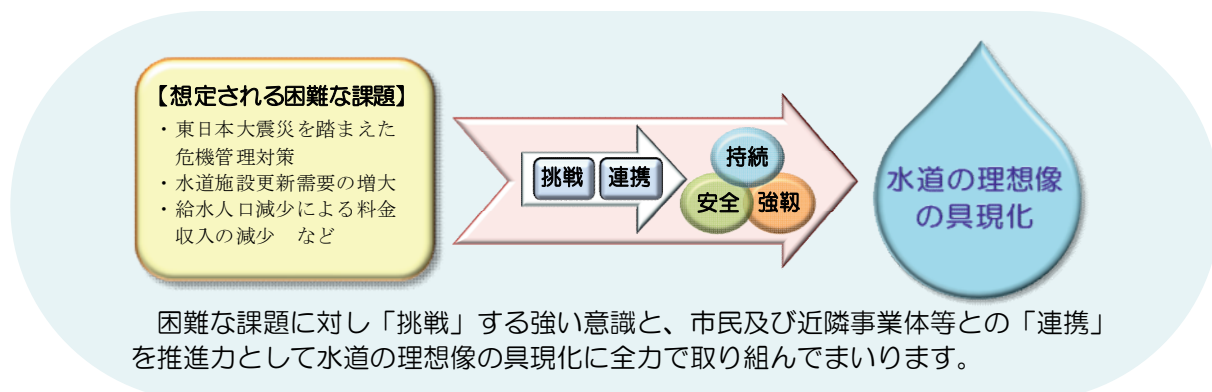
桑名市新水道ビジョンは計画開始を平成26年度とし、平成31年度までを「短期計画（6箇年）」、平成36年度までを「中期計画（11箇年）」、さらに平成56年度までを「長期計画（31箇年）」といたします。

実施管理指標に基づき毎年事業評価制度を実施し、進捗状況を管理するとともに、短期目標年度及び中期目標年度においては全体評価を実施することで、継続的な改善を図ってまいります。



●挑戦と連携

重点的な実現方策を停滞なく推進できるよう、「挑戦」と「連携」を推進力とし水道の理想像の具現化を目指します。





平成 26 年 3 月 第 1 回改訂

桑名市 上下水道部

企画総務課 TEL 0594-49-2057

桑名市多度町多度 1 丁目 1 番地 1